



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月12日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック(旧 株式会社ハルテック)

上場取引所 東大

コード番号 5915 URL <http://www.komaihaltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 須賀 安生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 中村 貴任

TEL 03-3833-5101

半期報告書提出予定日 未定

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	5,938	△5.4	414	182.2	441	176.4	353	155.5
22年3月期第2四半期	6,275	16.8	146	—	159	317.9	138	662.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	16.18	—
22年3月期第2四半期	6.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	11,739	7,077	60.3	324.08
22年3月期	11,690	6,936	59.3	317.63

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,077百万円 22年3月期 6,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	1.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

旧株式会社ハルテックは平成22年10月1日を効力発生日として、旧駒井鉄工株式会社と合併し株式会社駒井ハルテックとなっております。そのため、期末配当金につきましては、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

旧株式会社ハルテックは平成22年10月1日を効力発生日として、旧駒井鉄工株式会社と合併し株式会社駒井ハルテックとなっております。そのため、平成23年3月期の通期業績予想につきましては、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 22,459,683株 22年3月期 22,459,683株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 621,175株 22年3月期 620,426株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 21,838,894株 22年3月期2Q 21,842,422株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

旧株式会社ハルテックは平成22年10月1日を効力発生日として、旧駒井鉄工株式会社と合併し株式会社駒井ハルテックとなっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や新興国向け輸出の増加により、一部に持ち直しの兆しが見られたものの、急激な円高の進行、株式市場の低迷など先行き不透明な状況で推移いたしました。

橋梁業界におきましては、公共投資の見直しが続くなか、新設橋梁の発注量は前年同期並みにとどまり依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当第2四半期累計期間の受注高は、総額44億7千3百万円（前年同期比50.5%減）となりました。売上高は、59億3千8百万円（同5.4%減）となりました。損益につきましては、営業利益4億1千4百万円（同182.2%増）、経常利益4億4千1百万円（同176.4%増）、四半期純利益3億5千3百万円（同155.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

－ 橋梁部門 －

当第2四半期累計期間の受注高は、国土交通省中部地方整備局・祖父江南高架橋、阪神高速道路株式会社・海老江JCT橋他の工事で44億5千2百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

完成工事高は、西日本高速道路株式会社・長岡京第3橋、国土交通省近畿地方整備局・東坊城高架橋他の工事で57億7千2百万円（同4.9%減）となり、これにより受注残高は165億9千3百万円（同22.6%減）となっております。

－ 鉄骨・鉄構部門 －

当第2四半期累計期間の受注高は、2千1百万円（前年同期比91.3%減）となりました。

完成工事高は、1億6千5百万円（同19.3%減）となり、これにより受注残高は1億1千万円（同54.6%減）となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前会計年度末より4千8百万円増加し117億3千9百万円となりました。

資産の部では、完成工事未収入金が12億5千2百万円増加、未成工事支出金が5億4千7百万円減少したことなどにより流動資産が2億5千2百万円増加し65億6百万円となりました。固定資産は2億3百万円減少し52億3千2百万円となりました。

負債の部では、支払手形が2億2千1百万円増加、未成工事受入金が2億8千1百万円減少したことなどにより流動負債が3千2百万円減少し37億8千万円となりました。固定負債は8億8千2百万円となり、負債合計は46億6千2百万円となりました。

純資産の部では、繰越利益剰余金が2億8千7百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億4千7百万円減少したことなどにより純資産は1億4千万円増加し70億7千7百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ公正な評価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、事業年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,325	2,840
受取手形	115	131
完成工事未収入金	3,621	2,369
未成工事支出金	129	677
材料貯蔵品	56	14
繰延税金資産	99	158
その他	165	67
貸倒引当金	△6	△3
流動資産合計	6,506	6,254
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,065	1,102
土地	441	441
その他(純額)	581	570
有形固定資産合計	2,088	2,113
無形固定資産		
	37	36
投資その他の資産		
投資有価証券	952	1,153
関係会社株式	10	10
賃貸資産(純額)	2,037	2,004
その他	106	117
投資その他の資産合計	3,106	3,286
固定資産合計	5,232	5,436
資産合計	11,739	11,690
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,719	1,497
工事未払金	1,082	913
未払法人税等	14	24
未払消費税等	—	213
未成工事受入金	470	751
賞与引当金	104	98
工事損失引当金	134	187
その他	254	125
流動負債合計	3,780	3,812
固定負債		
繰延税金負債	43	96
退職給付引当金	670	686
資産除去債務	3	—
その他	163	158
固定負債合計	882	941
負債合計	4,662	4,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,903	3,903
資本剰余金	1,478	1,478
利益剰余金	1,826	1,538
自己株式	△107	△107
株主資本合計	7,101	6,813
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23	123
評価・換算差額等合計	△23	123
純資産合計	7,077	6,936
負債純資産合計	11,739	11,690

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
完成工事高	6,275	5,938
完成工事原価	5,842	5,225
完成工事総利益	433	712
販売費及び一般管理費	286	298
営業利益	146	414
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	14
受取賃貸料	56	55
その他	10	14
営業外収益合計	78	84
営業外費用		
支払利息	6	—
賃貸費用	45	43
コミットメントライン手数料	13	13
その他	0	0
営業外費用合計	65	57
経常利益	159	441
特別損失		
固定資産廃棄損	1	11
会員権評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7
損害賠償金	13	3
特別損失合計	15	23
税引前四半期純利益	144	418
法人税、住民税及び事業税	6	5
法人税等調整額	—	59
法人税等合計	6	64
四半期純利益	138	353

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

1. 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	橋梁事業	8,799	97.3	4,452	99.5	11,055	97.4
	鉄骨・鉄構事業	243	2.7	21	0.5	295	2.6
	合計	9,043	100.0	4,473	100.0	11,351	100.0

項目	前年同四半期 累計期間 (平成21年9月30日現在)		当第2四半期 累計期間 (平成22年9月30日現在)		前事業年度 (平成22年3月31日現在)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注残高	橋梁事業	21,441	98.9	16,593	99.3	17,913	98.6
	鉄骨・鉄構事業	242	1.1	110	0.7	254	1.4
	合計	21,683	100.0	16,703	100.0	18,167	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋梁事業	6,070	96.7	5,772	97.2	11,854	98.0
鉄骨・鉄構事業	205	3.3	165	2.8	245	2.0
合計	6,275	100.0	5,938	100.0	12,099	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。